

新型コロナウイルス感染症対策のため、当分の間『岐大通』の配布方法はこれまでと異なります。ご理解のほど、よろしくお願いします。

**2020J3** ■順位表 ■第30節

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	秋田	71p	+42	53	11	H●	A●
2	相模原	53p	+6	38	32	A●	H△
3	長野	52p	+18	41	23	H●	
4	岐阜	52p	+13	48	35	---	---
5	富山	47p	+11	47	36	A○	H△
6	鳥取	47p	+6	41	35	A○	
	熊本	47p	+6	49	43	H○	A○
8	今治	46p	+7	30	23	H△	A○
9	鹿児島	46p	+5	42	37	A○	H●
10	藤枝	43p	+2	44	42	A●	H○
11	福島	39p	-5	41	46	A○	H●
12	沼津	35p	-4	30	34	A△	H○
13	岩手	35p	-16	27	43	H△	A○
14	G阪23	29p	-11	35	46	H○	
15	八戸	29p	-13	37	50	A○	
16	讃岐	27p	-15	30	45	H△	A○
17	YS横浜	24p	-26	34	60	H○	A△
18	C阪23	21p	-26	26	52	A●	H○

※勝点、得失点差が同じ時は同順位とし、リーグ戦終了時に直接対決結果で決定（H&A実施完了時のみ）

**次回HomeGame**

第32節【ホーム最終戦!!】  
vs.ヴァンラーレ八戸  
12/9(水) 19:00  
@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場

**大酒場 ホームラン**

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）  
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。  
休:月曜日

today's guest : **ガイナレ鳥取**

2019 J3 14勝8分12敗 勝ち点50: 7位

直近の対決と結果

2020/07/05  
J3 - 2節 @ A x i s

**鳥取 2-3 岐阜**

富樫佑太, 粟飯原尚平,  
川西翔太 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜		ガイナレ鳥取	
2020/11/28 J3 - 30節@ピカスタ 讃岐 0-1 岐阜		2020/11/28 J3 - 30節@ギオンズ 相模原 3-2 鳥取	
2020/11/21 J3 - 29節@長良川 岐阜 2-1 藤枝		2020/11/22 J3 - 29節@チユスタ 鳥取 1-2 八戸	
2020/11/18 J3 - 28節@長良川 岐阜 3-0 C阪23		2020/11/18 J3 - 28節@長野U 長野 0-1 鳥取	

● J 3 最速・28 戦無敗で秋田の優勝が決まったが、激しい J 2 昇格争いはまだまだ続く 2020 年 J 3 リーグ。11/21 (土) 第 29 節・ホーム藤枝戦は、お互いに相手に決定機をつくらせず、中盤での支配権争いが続くが、前半終了間際に 2 列目からゴール前に飛び出した #10 川西翔太が先制点を挙げる。後半に追いつかれてしまうが、途中出場した #16 富樫佑太が値千金の決勝ゴールを挙げる。この 1 点を守り切った岐阜が 2-1 で勝利し、ホーム 2 連戦での連勝を達成した。続く 11/28 (土) 第 30 節・アウェイ讃岐戦は、試合序盤から岐阜がボールを支配するが、決定機をつくれずに前半が終了。後半になると、CK のセットプレーで #10 川西翔太がボールに詰めて先制するが、その後 #22 柳澤亘が決定機阻止で一発退場。10 人となった岐阜は劣勢となるが、全員で粘り強くゴールを守り切って 1-0 で試合終了。苦しみながらもアウェイで勝ちきり、3 連勝を達成した。

この 2 試合を連勝した FC 岐阜。勝ち点を 52 とし、順位も 5 位から 4 位に上げた。J 2 昇格圏内である 2 位・相模原との勝ち点差は 1、3 位・長野とは得失点差 5 のみ。1 試合の結果次第で順位が入れ替わる状況だ。一方で 5 位・富山との勝ち点差を 5 と拵げたことで、現在の J 2 昇格争いは岐阜を含む 3 チームが抜け出した形となっている。そして、FC 岐阜は相模原との対戦は既に終えているが、長野とは直接対決を残しているため、自力だけで順位を逆転できる。今シーズンは残り 4 試合。勝利を重ねられなかったチームが脱落してゆく、最後のデッドヒート。一瞬たりとも油断できない 4 試合を、一つずつ最後まで集中して勝ち抜いて、そして最後には笑ってシーズンを終えよう。そのためには、まずは今節この試合で勝つことが、絶対に必要だ。

さて、今節の対戦相手はガイナレ鳥取。2013 年に J 2 から降格して 7 シーズンとなるクラブだ。今季は開幕戦で勝利を挙げると、第 2 節で岐阜に敗れるも順調に勝利を重ねて、一時は 2 位に立った。そしてシーズン前半戦は 4 位で折り返すが、後半戦序盤は勝利から遠ざかって中位に。終盤に入ると長野を破るなどの 3 連勝で順位を一気に 3 位まで上げたが、直近 2 試合で連敗してしまい、現在は勝ち点 47 で 6 位タイ。2 位・相模原との勝ち点差は 6 と、先述したように J 2 昇格争いからは一歩後退した状況にあるが、しかし完全に脱落した訳ではない。奇跡的な逆転劇を信じて、彼らも最後まで必死に戦うだろう。それを上回る、勝利への執念と気迫を岐阜の選手には発揮して、そして 4 連勝を達成してもらいたい。

鳥取の要注意選手には、まずは高卒ルーキーながら現在 8 ゴールの #17 田口裕也を挙げる。また、大分から期限付き移籍して 7 得点の #27 坂井大将は、前回の対戦で 2 得点を挙げており、本人も気を良くしているだろう。一方の岐阜は、これまで全試合でスタメン出場していた #22 柳澤亘が前節の退場により出場停止となるのが痛手だが、替わりの選手の活躍に期待したい。また、CB の柱である #4 甲斐健太郎は 2018 年に鳥取へ期限付き移籍して成長を遂げた選手だ。普段よりもさらに激しく、鳥取の攻撃を防いでくれるだろう。

岐阜と鳥取の通算対戦成績は、J 2 では 2 勝 2 分 2 敗・11 得点 11 失点だが、これは 7 年前までの記録だ。参考にすべき今季の対戦は、第 2 節・7/5 (日) アウェイ戦だ。前半に #16 富樫佑太が GK との 1 対 1 を制し、また #24 粟飯原尚平が打点の高いヘッドを決めて 2 点差とした岐阜だが、先述のように #27 坂井大将に 2 点を決められ、同点に。しかし #10 川西翔太のミドルシュートで再び突き放し、3-2 で勝利。今回の対戦でも必ずや勝利して、J 2 昇格争いで追いつがるライバルに対してダブル (2 勝) を決めたい。

泣いても笑っても、あと 4 試合。新型コロナ「第 3 波」が到来する中で、僕らも充分に感染防止対策・観戦ルールを遵守した上で、最後まで勝利を、そして J 2 昇格を目指して走り続ける選手たちの背中を、全力で後押ししよう。試合後にはホーム 3 連勝の歓喜を選手たちと分かち合い、シーズン終了時の目標達成に望みを繋ぎ続けよう。(ささたく)

**編集部より一言。**

次号は今季『岐大通』最終号です。恒例の年間ベストゲーム、ベストゴール、MVP、「今季の来季の FC 岐阜へ」を募集します。締切は鳥取戦翌日・12/6 (日) 午後 7 時。お待ちしております！(編集人・吉田铸造)

**投稿募集 !!** [gidaidohri@gmail.com](mailto:gidaidohri@gmail.com)

## 【第29節】岐阜 2-1 藤枝

●J2昇格争いに生き残るためには、もう負けられない。しかし藤枝は、前回のアウェイ対戦では1-3で完敗した相手。この難敵をどう攻略するのか、不安と期待に胸を膨らませつつ、キックオフ。さて今季初スタメンで#7村田透馬を左に配し、右に#24栗飯原尚平の布陣。クロスよりはカットイン、中央寄りの戦術を選択した形の岐阜は、これが功を奏してか、今回は中盤で藤枝と互角の勝負になる。ただ、お互いが守備を固める入り方で、中盤での差し合いが続き、なかなかフィニッシュまでには至らない。#8中島賢星のミドルは惜しかったけど、ビッグセーブに防がれてしまう。このまま前半は無失点で終われば…と思いはじめた前半44分、縦へのロングボールに追いついた#9高崎寛之が、タイミングを見計らってボールをゴール前のスペースに出すと、そこにDF2人を引き連れて飛び込んできた#10川西翔太が、足を半歩先に出してワンタッチゴール！…いや、出し手と受け手の役割が逆なんじゃね？と少し思ったのはここだけの秘密です(笑)。1点リードして前半終了。後半になると早々に、藤枝は#14谷澤達也と#20森島康仁を投入。うー、こいつらが藤枝のベンチにいるんだよなあ…僕はやられた記憶ばかりが残ってる、いやな選手たちだ。そして、PA内で#20森島が落としたボールを#14谷澤が押し込む形で岐阜が失点し、試合の流れは藤枝に傾く。受けに回る岐阜だが、粘り強く集中して守り、その後は決定機をつくらせない。すると後半83分、#10川西が縦に出した絶妙のスルーパスを、ゴール前でマークを外してフリーになった#16富樫佑太が受け、GKとの1対1も冷静にかわして2点目！…いや、現地で見えた時は、藤枝DF陣の時が一瞬止まったかのように#16富樫が抜け出してたので、オフサイドなのかと思ったのはここだけの秘密です(苦笑)。リプレイで確認すると、一回転してフリーになってオフサイドじゃない。自らJ3通算100試合出場セレモニーに花を添える貴重なゴール、実に見事なストライカーの動きでした。この後は、交代枠も使い切りながら、しっかりとゴールを守り切った岐阜。試合終了間際で交替を告げられた#10川西はプチ切れてたけど、これも勝利のため、エースの10番を少しでも休ませるためってことで…(苦笑)。そして土曜のJ3はこの1試合のみ、翌日は“ダサンダー”と化して他チームの試合を観戦。信じられないぐらい、上位チームの多くが勝ち点を逃してくれた(苦笑)ので、FC岐阜のJ2昇格の可能性も少し増えた。でも、自分たちが勝ち続けなければ、この可能性も消えてしまう。残り全部勝って、J2に戻ろう！(ささたく)

●ウチにとっては、ずいぶん良い目が出た藤枝戦翌日のJ3。しかし、それも前日に勝ち切ったが故、でありましょう。内容はともかく、ですが。内容は、ええ。正直ね、頑なに信じて貫き通せるチーム戦術なんぞないワケ……と言ったら語弊があるか。ボクがわからないだけの可能性大。サイド攻撃を標榜、といってもね(いや、標榜してるか、どうか知らんけど)、精度の高いアーリークロスはもちろん、クロスを待つ味方が圧倒的に少ないじゃないですか。ゴール前に掛ける枚数が少なければチャンスも増えないのは道理。象徴的なのが、前半のワタルのクロスです。DAZN観戦のボクには、味方がいないトコに蹴ってしまったように見えたが、現地観戦の仲間によると、ワタルが激怒してた、と。「なんで、ファーに詰めてないの？」ということでしょう。いや、よくある場面とは思いますが、ウチの状況が状況だけに、ね。けど、そんな戦術も組織も、それを必要としない個があれば問題ないんです。それが、この試合の2点なんです。先制点は高崎が孤立しながらキープして、「今、ココしかない！」トコへパス、ソレを翔太が「ココしかない」左アウトサイドでゴールへパス、ですワ。決勝点なんか、クリアを拾った翔太が「今、ココしかない！」というタイミングとスペースを把握し、佑太が時間を止めたかのようなトラップとターンを使ってネットを揺らす。どうです？いらんでしょ？戦術なんか(笑)。物理、物量で中央からぶっ叩きやいますよ。あいちゃんもカットインしてのシュートだけでいいですよ。あと、この試合の特筆すべき点。透馬が湧き上がるようなワクワク感を醸し出してくれました。ありゃ、なんですか？凄すぎませんか？まさに、あと一皮剥けたら、って感満載でしたねえ。もうちょっと早く出したげてよ、という思いはありますが、今からでも遅くない。ラストパートに向けて強力な武器になりますよ。次の試合が待ち遠しい。まずは、目の前の一戦から、です。(ぐん、)

## 【第30節】讃岐 0-1 岐阜

●もう一戦も負けられないリーグ戦。そして土曜昼の“近場(笑)”のアウェイ戦ということもあり、150席とも言われるアウェイチケットは前日に完売。メイン席の分も合わせると、200人近い岐阜サポが讃岐に集まったのかな？さて試合は開始直後から岐阜のペース。17位の讃岐相手では当然といえば当然なんだけど、セカンドボールを拾うのも、ボールカットをするのも岐阜の方が多く、ボールを支配しながらゴールを狙う。だけど、積極的にシュートを狙いに行く場面があまり見られず、しかも撃ったシュートは枠を捉えられない。決定機だったのは#9高崎寛之ぐらいかな？惜しくも詰めたGKに防がれたけれど。そうしていると前回の対戦、ミスで先制点を許して後半終盤に追いついて辛うじて引き分けにした試合の記憶がちらちらと…。だけど、後半50分に#35レレウの蹴ったCKをニアで#27イヨハ理ヘンリーがそらし、ファーでゴールに詰めた#10川西翔太が身体ごと押し込んで先制点！#35レレウのキックが武器になるという収穫もあったし、セットプレーでの得点というのも今後に向けては良かったと思う。直後に得たFKのセットプレーでもゴールネットを揺らしたのが、こちらは惜しくもオフサイドの判定。この調子なら追加点も…と思っただけ矢先、カウンター攻撃を浴びてGKと1対1になりかけた場面で#22柳澤亘が相手を倒してしまい、決定機阻止でまさかの一発退場。PKじゃなかっただけマシだけど、残り時間は約30分、そしてPA手前での直接FK…。再び、前回対戦の苦い記憶が脳裏に蘇ってくる。しかし、そのピンチを#29GKパク・ソンスのビッグセーブが救う。この直後に飲水タイムがあり、ここで今後の戦術の確認をして、選手交代を行うことができたのにも救われたと思う。数的優位を得た讃岐は攻勢を強めシュートを放つけれど、1人欠けた状況を運動量でカバーし、集中してゴールを守る岐阜の選手たち。現地で見ている者にとっては、長い長い30分間…。しかしようやくアディショナルタイムも過ぎ、試合終了の笛。これで3連勝、貴重な勝ち点3を敵地から持ち帰ることができた。いやー、緊張と不安で寿命が縮みましたわ(苦笑)。そして、「楽な試合はひとつもない」ことを改めて痛感させられた試合でした。それにしても、讃岐・ピカスタの枯れっぷりときたら…。元々ホーム・アウェイ両方のサポの多くがうどん食べてからスタジアムに来らしい(笑)ので、2年前でもスタグルやイベントが岐阜に比べてかなり少なかったけれど、2年でこの有様とは…やはり、岐阜は運営面では優れているし素晴らしい。そして、この1年でJ2に復帰しなくては。そんな事も、痛感させられた試合でした。(ささたく)

●PKか？と思ったんだけど、赤紙出た瞬間、讃岐のダイブ？と勘違いしたことを告白します。ダイブで赤なんか出るハズないのに(汗)どっただけ自分に都合よく考えてたんだよ。と。でも、リプレイだと足が掛かってるようには見えなかったし、何よりPKなら黄紙のハズ。赤紙は出ない。それは覚えました。PK外での得点機会阻止だから赤紙退場なんだよね。PKじゃなければなんとかなる。至近距離のFKとはいえ、そう簡単に、いや、だからこそ決まらねーよ、と自分に言い聞かせて見守ってたけど、ソンスがセーブしてくれた瞬間、アノ日の能活が脳裏をよぎった。アノ日は真夏のナイトゲーム。2点先取したのに一点差に迫られたらアタフタした挙句に与えたPK。蹴るのは、その追い上げ弾を決めた和正。守るのは能活。同点にされたら、そのまま逆負けに繋がる雰囲気にも包まれる大ピンチを救ってくれた守護神の姿が、この瞬間のソンスと重なってしょうがなかった。しかし、まあ、アレですよ。正直に言えば「決めるトコを決めないからこうなる」の典型。前半のうちに先制、あるいは早めに2点目を決めてたら、その時点で決まってた。それくらいの差はあった。アノ日の古田や和正みたいに流れを変える選手も今の讃岐にいないように見えた。もうね、シーズン通して詰めが甘いよ、と(苦笑)とにかく、最低限の結果、勝ち点3は得た。残りも全部勝つ。それしかない。もしかしたら、シーズン途中での打ち切りがあるかもしれない。それでも、目の前の一戦一戦を全力でやってみようしかないワケで。楽しみにしています。(ぐん、)